

する財産取得について、防災用移動通信機器購入等の備品購入契約の締結4件、人権擁護委員の候補者の推薦についてが上程され、すべて承認・可決されました。また、平成21年度東海村一般会計歳入歳出決算、平成21年度東海村国民健康保険事業等の特別会計歳入歳出決算9件、平成21年度東海村水道事業会計歳入歳出決算、平成21年度東海村病院事業会計歳入歳出決算が上程され、すべて認定されました。

### ●議員提出議案

総務委員会に付託されていた「家電エコポイント制度の再延長並びに住宅エコポイントの延長を求める意見書」は可決しました。

また、建設経済環境委員会に付託された「気候保護法(仮称)」の制定を求める請願は、政府策定の「2020年に温室効果ガス25%削減」という目標を上回り、国民生活や経済活動に影響を及ぼすことが懸念されることから不採択となりました。しかし、同委員会は温室効果ガス削減の趣旨には賛同できるため、「地球温暖化対策のための法律の制定に関する意見書」を提出し、可決されました。可決された意見書は国の関係省庁に提出されました。

※9月定例議会の録画映像が、東海村議会ホームページでご覧になれます。

## 平成21年度一般会計・特別会計歳入歳出決算審査報告

出された意見は次のとおりです。

### 一般会計

#### 特に留意すべき事項

- (1) 平成21年度の村税収入未済額は、3億6834万3962円であり、前年度に比べ1595万3146円増加している。また、不納欠損額は1938万956円であり、前年度に比べ1312万544円増加している。税の公平の原則からも徴税方法の工夫を凝らし、最善の努力をすべきである。
- (2) 歳出の不用額は、4億9301万8745円となっている。前年度より減少しているものの、予算執行の進行管理を適切に行うとともに、やむを得ない場合を除き、補正予算の手続きを行うべきである。
- (3) 歳入額が確定しているにも拘らず予算措置をしないまま調定し、収入済としている項目がある。補正し予算計上すべきである。
- (4) 時間外勤務については、総時間数で6万3843時間となっている。前年度比333時間減と努力の跡は見えるものの、部署によっては大幅に増加している課も見受けられる。職員の心と身体両面での健康管理の点から、実態把握・要因分析を行い、事業の整理統合や適材適所への人員配置など、時間外勤務の縮減に効果的な対策を行うべきである。
- (5) 児童福祉費負担金の収入未済額は523万2510円であり、前年度より増加している。原因の究明とあわせて、収入未済額の減少に努めるべきである。
- (6) 後期高齢者サポート事業は、事業の理解が容易でない高齢者もいることを考慮し、手続き等について改善すべきである。
- (7) とうかい環境農業塾開催事業について、初年度であるのに農機具等修繕料が支出されてい

る。不特定多数の人が利用することから、利用者には適切に指導すべきである。

- (8) 就学奨励事業については、現在の困難な経済情勢の中であっても児童・生徒に平等な教育の機会を保障するために、基準を明確にすべきである。

### 平成21年度一般会計決算特別委員会

委員長	岡崎 悟
副委員長	江田 五六
委員	坪 常美 高橋 昭 大名美恵子 大内 則夫 恵利 いつ 越智 辰哉 河野 健一

### 特別会計

#### 特に留意すべき事項

#### 東海村国民健康保険事業特別会計

- (1) 国民健康保険税の収入未済額は1億8860万3059円で、前年度に比べ782万4846円(4.3%)増加しており、不納欠損額も1337万8167円(前年度1360万9264円)とほとんど改善されていない。国民健康保険事業の維持は財源確保にあり、また税の公平負担の観点からも、納税の実態を把握して、収納率向上に一層の努力をするべきである。
- (2) 歳出の保険給付費18億3193万2058円は前年度17億1028万7691円より1億2164万4367円の増である。感染症予防・療養費・検査料等の増加によるものであるが、疾病予防のための特定健診やその他の各種健診の受診啓発に努力されたい。

#### 東海村後期高齢者医療特別会計

- (1) 後期高齢者普通徴収保険料の収入未済額は326万4500円であり、前年度に比べ154万6520円増加している(90%増)。今後も累積が懸念されることから、現状をよく把握し、保険料徴収に一層の努力をされたい。